

◎ 株主ニ對スル通知

拜啓陳者今般中交兩行處理日華混合委員會ノ決定セル本行改組案ノ起
定ニ基キ本行資本金ハ新法幣ヲ以テ〇千萬元トシ從來ノ本行民有株
券主中敵性關係ナキモノ又ハ此ニ敵性關係ヲ斷絶シタル者ト認メラレ
ルモノニ限リ舊株券額面ニ對シ一(舊株券舊法幣銀五百圓ニ對シ新法
券新法幣銀五十圓)ノ割合ヲ以テ新株券ト交換スルコトニ相成候ニ就
テハ各株主ハ八月一日ヨリ六月以内ニ舊株券並ニ届出ノ印鑑ヲ携帶
シテ本行復業準備事務所(上海靜安寺路 〇號)ニ届出ヲ爲サレ度
候。然レ上ハ判定ノ上新株券ヲ引換御交付スベク候若シ六月ノ期
限ヲ過ケルモ尙御届出ナキ場合ハ株主權ヲ拋棄セラレタルモノト認定
致スベク候。

中交兩行處理日華混合委員會ノ新聞公告ノ外特ニ茲ニ御通知申上候間
遲滯無ク右手續御取運相成度候。

尙遠隔ノ地ニ在リテ直接前記復業準備事務所ニ就キ届出手續ヲ採リ難

キ向ハ同封ノ空白印鑑用紙ニ届出ノ印鑑ヲ押捺シ舊株券ト共ニ書留郵
便ヲ以テ本行復業準備事務所ニ御郵送相成度候。
先ハ右御通知券ヲ得貴意度如斯御座候。 敬具

銀行復業準備事務所

追テ同封調査表ハ御書入ノ上折返シ御送付相煩度候

拜復御書面拜見、一切承知仕候致ニ調査表書入ノ上御送付申上候間
御査改被成度候 敬具

券主

〇 銀行復業準備事務所
御中

〇 銀行民有債券主調査表

債券名義	姓 名	株 券 番 號	株 式 數	届 出 印 鑑	通 信 場 所

次デ八月五日第四回幹事會ガ左記ノ如ク開催セラレタリ。
小原幹事長上京不在ニ付石井調査官幹事長ヲ代理司會セリ

同日ノ決議事項左ノ如シ。

◎ 決議事項

- 一、定款ハ本日ノ幹事會審議ヲ原トシテ兩行準備事務所ニ於テ更ニ案ヲ練リ次回幹事會ニ最後案ヲ提出ノ事
- 二、敵性預金明細表ハ新敵産管理委員會ニ提出シテ其判定ニ資スル事

尙同日ノ兩行定款審議ニ關スル經過左ノ如シ。

先以石井幹事長代理ヨリ審議ニ先立テ其要領トシテ次ノ如キ説明アリ
タリ。
「新定款ハ舊定款ヲ基礎トシ之ヲ兩行處理方針ニ即應シテ適當修正ヲ加ヘ...

定款中重要ナル點ニ付キ審議スル事トシ其審議ニ基キ兩行復業準備
事務所ニ於テ細目檢討シ次回幹事會並ニ委員會ニ提案シテ決定ノ上
南京政府認可手續ヲ取リタシ
最初ニ中國銀行ノ定款ヲ審議シ、交通銀行分ハ大同小異ニ付キ唯中
國ト異ル點ノミチ擧ゲテ審議ノコト、致シタシ
以下石井幹事長代理説明並ニ審議經過

第一章 總 則

◎ 第一條

原案「中國銀行ノ第一條「中國銀行ハ中國銀行條例ニ據リ株式會社
ノ組織ヲ以テ之ヲ設立ス」トシ舊規定ノ「國際爲替銀行」ノ項目ヲ
削除ス
交通銀行ノ第一條「交通銀行ハ國民政府發布ノ條例ニ基キ設立シ全
國ノ實業ヲ發展セシムル爲メ銀行ニシテ株式會社組織トス」トシ舊規定
ニ於ケル目的事項ヲ存置ス

修正決定「交通銀行第一條ノ目的事項ヲ削除シ交通銀行モ中國銀行
ト同一條文ヲ採ルコトニ決定

(論 議)

吳 幹 事「中國銀行ノ定款ニモ復業後ノ新使命ヲ謳フタシ、交通
銀行トバランスヲ取リタシ

石井幹事長代理「交通銀行ノ目的事項ヲ省キテハ如何

吉 川 參事「バランスヲ取ル意味ニテ目的ヲ問題ニスルナリ、双方

省クテ可トス、目的ヲ掲グルル必要アラバ條例ニ掲グベキテ定款ニ
掲グベキニ非ズ

錢 幹 事「兩行ハ儲蓄銀行ノ下ニ一般普通銀行トシテ復業スルモ
ノナリ、吉川說ニ贊成ス

○ 第五條

原案「舊規定ニ「株主ハ中華民國ノ國籍ヲ有スル者ニ限ル」トナル
ヲ削除シ國籍ニ制限ヲ附セザル事トス（現由「滿洲國籍ヲ考慮」上）」

修正決定一舊規定ヲ復活シテ一務主ハ中華民國ノ國籍ヲ有スル者ニ
限ルコトニ決定

(論議)

吳幹事一國籍ヲ限定セザルハ一般民衆ニ誤解ヲ與フル惧レアリ
錢幹事一一般人ノ誤解ヲ招キ易キ故舊規定通リ中國籍ニ限定ス
ルヲ可トス

吉川參事一贊成ナリ、滿洲國籍問題ハ別途考慮シ得、又中國ノ如
キ國籍ニテハ國籍ヲ限定スル必要アリ

第二章 資本

委員會ノ決定ニ基キ第四條資本金額、第八條債券面種類ニ變更ヲ加
フ、債券ニ大額券ヲ規定セルハ儲備銀行ノ如キ大務主ニ備フル爲メナ
リ

第三章 業務

舊十七條ノ政府及中央銀行ノ委託事務ノ一條ヲ削除シ新十三條銀行營

業種類ノ條文ノ冒頭ニ「政府委託代理事務」ノ一項ヲ加ヘ、其ノ他該
條文中ニ普通銀行トシテ當然營ムベキ諸業務ヲ追加規定セリ、
幹事ノ間ニ政府委託ノ外ニ中央儲備銀行或ハ適當ナル語ヲ以テ中央銀
行ノ委託ノ事ヲ加フベシトノ意見アリ、又業務事項ノ記列ニ付キ復
業準備事務所ニ於テ尙檢討スル事トセリ

第四章 組織

委員會ノ決定ニ基キ變更ス
原案上第十七條「董事ハ務主中ヨリ選舉シ財政部ノ認可ヲ受ク」
第十八條「董事長ハ常務董事中ヨリ選舉シテ財政部ニ申告スルモノ
トス」(舊規定ハ「董事長ハ財政部ノ指令ニ由ルトアリ」)
修正決定一董事長モ董事ト同ジノ財政部ノ認可ヲ受クルコトニ決定
第二十一條以下ハ董事長ト常務董事ノ權限、董事長事故アルトキノ
代理ノ選任並ニ常務重役他職ヲ兼ヌル場合ノ手續ヲ新ニ規定セリ、
總經理ノ規定ハ當然廢止サレタリ

第八章 株主總會

舊五十一條ニ株主ノ投票權ハ百株以上ハ二十株毎ニ一權アルヲ新四十
五條ニ於テ削除セリ

(理由) 中央儲備銀行ノ支配力ヲ名實共ニ強力ナラシムル爲メ

(論議)

吳幹事ヨリ本規定ハ實際上不都合ナク、又公司法ニハ舊規定ヨリ一層
強キ大株主ノ制限規定アル程ナレバ舊規定程度ノ制限ハ殘シ置ク可
トストノ意見開陳アリタリ

第九章 決算及利益金處分

第五十八條株式配當率ヲ年七分トストアル項ニ付キ吉川幹事ヨリ七分
ト確定スルハ考究ヲ要スル旨意見開陳アリタリ

交通銀行定款

第十九條「實業發展ノタメ財源部ノ認可ヲ得テ資本金總額ノ十倍ヲ限
度トシテ實業債券ヲ發行スルコトヲ得」

(論議)

錢幹事「交通銀行ノモノ特種規定ナレバ考究ヲ要ス、寧ろ削除
ヲ妥當ス」

吉川幹事「時期尙早ノ嫌ナリ」

以上ヲ以テ定款審議ヲ終ル」

五 第三回中交兩行處理日華混合委員會

八月十五日午前十時三十分ヨリ第三回委員會並ニ第五回幹事會左記
ノ如ク開催セラレタリ。

委員會ハ中國鐵道海關稅務部委員長トナリ之ヲ司會シ、幹事會ハ小
原幹事長不在ニ付石井調查官代理司會セリ。

周委員長開會ニ當リ左記要旨ノ挨拶ヲ述べタリ。

周委員長「本日ハ第三回委員會及第五回幹事會ヲ開催スル。最初ニ幹
事會ノ開催ヲ石井幹事長代理ニ依頼スル。幹事會ノ審議事項ハ直
チニ委員會ニ附シテ決定致シ度シ。定款ニ付テハ本日幹事會ニテ決



定ノ上ハ現在迄ノ審議經過ヲ幹事長代理ヨリ説明シテ載キ度シ。是ニテ委員會ヲ一應閉會シ直イニ幹事會ニ移レリ。石井幹事長代理司會ノ下ニ幹事會ヲ開催シ審議ノ結果決定セザル事項左ノ如シ。

◎決議事項

- 一、香港ニ於ケル中交兩行ノ處理ハ香港當局ニ一任ノ事、但シ新支店開設ノ場合ハ總督府ノ特別ノ考慮ヲ願フ事
- 一、中交兩行ノ定款ヲ可決（新定款参照ノ事）
- 一、尙幹事會ニ於ケル定款審議ニ關スル經過左ノ如シ。
 - 石井幹事長代理説明並ニ審議經過
 - 新定款業務ノ部中國十三條並交通十五條各第一號ハ「政府委託代理事務」ノニ止メ「中央儲備銀行」ヲ挿入セズ
 - 石井幹事長代理「右ノ理由ハ兩行ノ將來ノ發展ヲ考慮シテ挿入セザル方好シト考ヘタル故ナリ」

28
17

0235

堀内委員「中央儲備銀行ノ名ヲ入レナイノハ儲備銀行ノ委託事務ヲヤソテハナラズトイフ趣旨デハナイト了解シテ宜シキヤ

石井幹事長代理「政府ノ命令トシテ儲備銀行ノ事務ヲ委託シ得ル事勿論ナルモ、儲備銀行自体トシテモ兩行定款第二條中ノ一般代理契約ノ規定ニ依リ兩行ニ事務ヲ委託スルコト可能ナリ

（一）業務内容ノ配列ヲ各幹事ノ意見ニ從ヒ適當組立ヘタリ
（二）新定款中國第五十八條交通第六十二條「配當率ハ年率分チ超スルコトヲ得ズ」ト改ム

石井幹事長代理「次條ト共ニ利益ナクシテ配當スル能ハザルヲ明カカニス
堀内委員「最高限ヲ規定スルハ夫レ以上配當出來ナイト云フ意味ナリヤ

石井幹事長代理「七分以上ノ配當ハ次條ノ特別配當ニテ補ヘ得」

以上ヲ以テ定款審議ヲ終了セリ。依ツテ石井幹事長代理委員會ノ要請ニヨリ現在迄ノ定款審議ノ經過（第四回及第五回幹事會審議事項）ヲ左ノ如ク説明セリ。

石井幹事長代理一兩行ノ定款ハ舊定款ヲ土臺トシ兩行處理要綱並ニ第二回委員會決定ノ處理細目ニ則リ適當修正ヲ加ヘタリ
コ、ニテハ主要ナル點ノミヲ説明スルニ止メ又兩行定款ハ大同小異ニツキ以下中國銀行ノ夫ニ主ニ説明ヲ進ムルコト、ス

(1) 第一條

中國舊定款第一條ニハ「國民政府ノ特許ヲ得タル國際爲替銀行」トアリ、又交通銀行舊定款第一條ニハ「國民政府ノ特許ヲ經テ全國ノ富強ヲ發展セシムル銀行」ナル字句アリタルガ、復華兩銀行ハ一般普通銀行業務ヲ主體トシテ經營セシムルノ主旨ヨリ上述ノ文字ヲ削リタリ

(2) 第十三條

先般幹事會ニテ決定アリシ如ク第一項ハ「政府委託代理事務」ノミニ止メ「中央儲備銀行委託代理事務」ナル字句ヲ入レザルコトトヤリ

(3) 第四章 組織

創設當時ノ董事監察人ハ便宜日支双方協議ノ上決定スルモノニシテ本定款ニ規定スル如キ方法ニ依ラヌモノト御承知乞フ組織ノ項ニ於ケル重要ナル變更ハ總經理制度ノ弊害多キニ鑑ミ之ヲ廢シ、董事長ヲ中心トシテ董事ノ會議ニヨリ行務ヲ處理セシムルコト、ヤル點ト常務董事ノ權限ハ二十條ニテ明ラカニナル點ナリ、尙官選ノ董事監察人制ハ之ヲ廢止セリ

(4) 第四十五條

舊定款ニ於テハ株主ノ投票權ヲ百株迄ハ十株毎ニ一權トスルモ百株以上ハ二十株毎ニ一權トスト制限セラレアリシモ株主ヲシテ平等ニ權利ヲ行使セシムル爲メ此ノ制限撤廢セリ

(5) 第五十八條

舊定款ニハ民間株ノ配當年七分トシ利益ノ有無ニ不拘七分配當ノ義務アルカノ如ク解セラル、嫌アリシニ付新定款ニ於テハ一七

0237

分チ超ユルコトヲ得ズトナリ

(6) 舊定款中ニ於ケル銀行券發行ニ關スル規定ヲ削除ナリ

(7) 交通銀行ニ官費債券ヲ發行ナシムベシトノ案アリシモ先刻幹事會ニ於テ決定ナラレシ如ク中國銀行トノ振合上之ヲ認メザルコトナリ

以上ニテ幹事會ヲ終了シ再ビ委員會ヲ開催ナリ

周委員長右議案二件ニ關シ幹事會ノ決議ヲ以テ委員會ノ決議ト致シ庶シト一同ニ諮リテ異議ナク可決ナリ

尙周委員長ハ數點附言致シ度シトテ左記ノ如キ希望ヲ申述ヘタリ

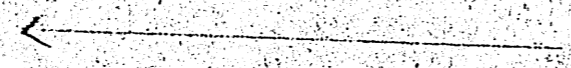
(一) 本日決定ノ定款ヲ基礎トシ國民政府ニ兩行條例ノ起草、公布ヲ至急申請シタシ

(二) 定款ニ基イテ作成スヘキ内規其他ノ行内規則ハ復業準備事務所ニ一任シ度イハ尤モ董事日本人顧問ノ決定ナル後ハ此等ノ人々ヲ參觀ナシムル事トシタシ

24

19

白 九月一日復業豫定日迄ニ二週間ヲ剩スノミ
政府へ無論ノ事各位ノ援助ヲ希望ス



ワ
ヅ
ク

中國銀行章程一定款

民國十七年十一月十七日株主總會議決十八年六月七日財政部認可
民國二十五年四月四日株主總會修正四月二十日財政部認可
民國三十一年八月二十八日修正九月 日財政部認可

第一章 總 則

第一條 中國銀行ハ修正中國銀行條例ニ據リ株式會社ノ組織ヲ以テ之ヲ設立ス

第二條 中國銀行ハ總行ヲ上海ニ置キ國內外ニ於ケル業務上必要ナル地方ニ分支^行ヲ設置シ又ハ其ノ他ノ銀行錢莊ト代理契約又ハ爲替契約ヲ締結スルコトヲ得
分支行ノ設置、閉鎖及ビ移轉ハ財政部ノ認可ヲ受ケルコトヲ要ス

第三條 中國銀行ノ營業年限ハ修正中國銀行條例第五條ノ規定ニ依リ
民國十七年十月二十六日ヨリ滿三十年トシ期限滿了ノトキハ

株主總會ノ議決ニヨリ財政部ノ認可ヲ經テ之ヲ延長スルコトヲ得

第二章 資 本

第四條 中國銀行ノ資本金總額ハ國幣二千萬元トシ之ヲ四十萬株ニ分チ一株國幣五十圓トシ一回全額拂込トス

中國銀行資本金ヲ增加スル必要アルトキハ株主總會ノ議決ニヨリ財政部ノ認可ヲ經テ之ヲ增加スルコトヲ得

第五條 中國銀行ノ株券ハ全テ記名式トシ株主ハ中華民國ノ國籍ヲ有スル者ニ限ル

第六條 株主ハ姓名住所並ニ署名又ハ印鑑ヲ銀行ニ届出ツベシ、若シ堂記又ハ商號等ノ名義ヲ使用スル場合ハ本人又ハ代表者ノ姓名ヲ附記スベシ

第七條 前項届出ニ變更アル場合ハ直ニ之ヲ銀行ニ通知スベシ
數人合シテ一株ヲ購入スル場合ハ其ノ中ノ一人ヲ出シテ株主

第八條

トスベシ
中國銀行株券ノ券面種類ハ一株、十株、二百株、一千株及ビ
一萬株ノ五種トス

第九條

株主ハ株券ノ券面種類ノ變更ヲ銀行ニ請求スルコトヲ得但シ
株券交換手数料ヲ支拂フコトヲ要ス
株券ヲ購買又ハ譲渡セントスル時ハ賣主又ハ譲渡人ハ株券ノ
裏面ニ署名捺印シ買主又ハ譲受人ハ之ヲ銀行ニ提出シ名義書
換手数料ヲ支拂フコトヲ要ス

第十條

承繼關係ニ因テ株券ノ名義ヲ變更スル必要アル場合ハ承繼人
ハ株券並ニ證明書ヲ銀行ニ提出シ名義書換ヲ爲スベシ但シ名
義書換手数料ヲ支拂フコトヲ要ス

第十一條

株式株券ヲ遺失シ銀行ニ代株券ノ交付ヲ請求セントスルト
キハ相當ノ保證人二人以上ノ署名捺印アル請求書ヲ銀行ニ提
出シ同時ニ銀行指定ノ新聞紙ニ遺失公告ヲ登載スベシ満三

第十二條

ケ月ヲ經テ猶發見セラレザル時遺失者ハ銀行ニ受領證ヲ提出
シテ代株券ノ交付ヲ受クベシ、代株券ノ交付ヲ受ケントスル
者ハ代株券交付手数料ヲ支拂フコトヲ要ス遺失ナル株券ヲ前
項ニ依リ新聞紙ニ公告スベシ、但シ代株券交付手数料ハ之ヲ
返還ナス

株券ガ毀損汚染シ又ハ株券裏面ニ署名捺印ノ餘白ナキニ至
リタルトキハ株券ノ取換ヲ銀行ニ請求スルコトヲ得、但シ株
券交換手数料ヲ支拂フコトヲ要ス

株券ノ字跡模糊トシテ分辨シ能ハザルトキハ株券ノ取換ヲ銀
行ニ請求スルコトヲ得、但シ第十一條ニ依リ處理スベシ

第十三條

中國銀行ノ營業種類左ノ如シ
（一）政府委託代理事務
（二）各種預金ノ受入

第十四條 中國銀行ハ第十三條ニ列舉ナル各號ノ營業ヲ除クノ外左記ノ各號及ビ其ノ他ノ事業ヲ經營スルコトヲ得ズ

- (一) 確有ナル兩筆手形ノ割引又ハ買入
- (二) 確有ナル擔保品ヲ抵當トスル貸付
- (三) 西商工業者ニ對スル動産不動産ヲ擔保トスル貸付
- (四) 西商工業者ニ對スル營業貸越及ビ農業貸付
- (五) 國內外爲替及ビ荷爲替
- (六) 別ニ定ムル章程ニ依ル信託及ビ儲蓄業務
- (七) 證券及ビ各國貨幣ノ買買
- (八) 金銀ノ代理收支並ニ會社商店債券株式ノ代理募集
- (九) 證券證書及ビ其他一切ノ貴重品ノ保護預
- (十) 倉庫及保險代理業務
- (十一) 營業上ノ必要ニ基ク確有ナル投資
- (十二) 其ノ他ノ附屬業務

第十五條 銀行貸付ノ期限滿了シ債務者及ビ其ノ保證人ニ償還ノ力ナク又相當ノ動産ヲ抵當スルモノナキトキハ董事會ノ同意ヲ得テ本銀行ノ株券又ハ不動産ヲ收受シ債務ノ辨濟ニ充當トシムルコトヲ得但シ收受後速カニ換價シテ辨濟ニ充當スルコトヲ要ス

第四章 組織

第十六條 中國銀行ニ董事十一人監察人五人ヲ置キ株主總會ニ於テ百株以上ノ株主中ヨリ之ヲ選舉シ財政部ノ認可ヲ受クルモノトス

第十七條 中國銀行ニ常務董事三人ヲ置キ董事之ヲ互選シ且ツ常務董

專中ヨリ一人ヲ選舉シテ董事長トシ財政部ノ認可ヲ受クルモ
ノトス

第十八條 中國銀行董事長ハ全行ヲ代表シ董事會執行務總會及株主總會
ノ議長タルベシ

第十九條 中國銀行董事長常務董事ハ銀行ニ常駐シテ董事長ハ全行ノ
事務ヲ經理シ並ニ董事會議決事項ヲ執行シ常務董事ハ董事長
ヲ輔佐シテ全行ノ事務ヲ處理スルモノトス

第二十條 中國銀行董事長事故ニヨリテ職務ヲ執行シ能ハザルトキハ
董事會ニ於テ常務董事中ヨリ一人ヲ推薦シ其ノ職務ヲ代行
シムルコトヲ得

第二一條 中國銀行ニ常駐監察人一人ヲ置キ監察人之ヲ互選ス
常駐監察人ハ銀行ニ常駐シテ職務ヲ執行スルモノトス

第二二條 中國銀行董事長常務董事及常駐監察人在任中他ノ職務ヲ兼
ネントスル時ハ董事會ノ同意ヲ經且ツ次期株主總會ニ之ヲ提

請シテ其ノ追認ヲ受クベシ

第二三條 中國銀行董事ハ任期四年監察人ハ任期三年トシ滿期後重任
スルヲ始メズ

第二四條 董事及監察人ノ選舉ニハ記名附記ヲ使用シ出席會員投
票權ノ半數以トテ得タル者ヲ合格トシ若シ過半數ヲ得ル能ハ
ザル時ハ得票數最多キ者ニ就キ選舉スベキ定員ニ二倍スル
人員ノ中ヨリ之ヲ決議シ得票同數ノ者ハ抽籤ニテ之ヲ定ム

第二五條 董事選舉後ハ定款所定ノ被選資格株券ヲ監察人ニ預入レ保
管シシムベシ改選後ト雖モ前年度ノ營業決算報告ガ株主總會
ノ承認ヲ經タル後ニ非レバ其ノ株券ヲ受戻スコトヲ得ズ

第二六條 常務董事及常駐監察人事故ニヨリテ缺員ヲ生ジタルトキハ
董事會監察人會ニ於テ之ヲ互選シ其ノ缺員ヲ補フコトヲ得

第二七條 董事及監察人事故ニヨリテ缺員ヲ生シ補缺選舉ヲ行ヒタル
トキハ常選者ノ任期ハ前任者ノ任期ヲ繼續スルニ止マルモノ

董事監察人ニ缺員アルモ董事尚六人以上監察人尚三人以上
リ董事會監察人會各補缺選舉ノ必要キコトヲ認メタルトキ
ハ之ヲ延期スルコトヲ得

第五章 董 事 會

第二八條

- (一) 總分支行事務方針ノ審定
- (二) 總分支行ノ詳細規則ノ制定
- (三) 各分支行ノ設立閉鎖及ビ移轉ノ議決
- (四) 代理店ノ委託、他行號ヨリノ代理委託ノ受諾並ニ債權株式
代理募集事項ノ審議
- (五) 對外重要契約ノ審查及ビ締結
- (六) 不產擔保貸付及ビ各種重要投資ノ審定
- (七) 債務辨濟ノ爲メノ擔保品ノ處理並ニ滯資金處理辦法ノ審議

28
94

0242

內營業用ノ土地建物ノ租借建築又ハ買買ノ議決
(九) 各種經費ノ豫算決算ノ審定
(十) 年度決算報告ノ整理

(出) 通常又ハ臨時株主總會期日ノ議定
(出) 各派別ノ權限爭議ノ裁決

第二九條

董事會會議ハ少クトモ毎月一回董事長之ヲ召集シ出席者ノ
多數ヲ以テ決ヲ取リ可同數ノ時ハ議長之ヲ決ス、但シ出席
董事半數ニ達セザル時ハ決議ヲナスコトヲ得ズ
董事事故ニヨリテ出席シ能ハザル時ハ他ノ董事ニ代理ヲ委託
スルコトヲ得、董事會會議ハ議長事故ニヨリテ之ヲ召集シ及ビ
之ニ出席シ能ハザル時ハ董事三人以上ヲ以テ召集開會シ並ニ
常務董事中一人ヲ推薦シテ臨時議長トナスコトヲ得
董事會會議ノ議事録ハ出席各董事署名又ハ捺印スベシ
董事自身ニ關スル議案ニ對シテハ本人ハ議決權ヲ有スルヲ得

第六章 監察人會

第三〇條

監察人會ノ聘請ハ左ノ如シ
一 董事預入ノ株券ノ保管、董事長常務董事及ビ董事等ノ執行ノ事件ガ條例定款規則及ビ株主總會ノ決議ヲ遵守スルヤ否
ヤノ監察

二 年度決算報告ノ審査

三 營業ノ進行及ビ財産狀況ヲ調査シ必要アル時ハ董事會ニ意見ヲ陳述スルヲ得ルコト

四 銀行業務ノ監察並ニ一切ノ帳簿證券及ビ手持現金ノ検査

第三一條

監察人會ノ議長ハ監察人中ヨリ之ヲ互選ス

第三二條

監察人會議ハ少クトモ毎月一回議長之ヲ召集シ其ノ會議事項ハ第三〇條ニ依リ處理スベシ
監察人事故ニヨリテ出席シ能ハザル時ハ他ノ監察人ニ代理ヲ

委託スルコトヲ得

第七章 行務總會

第三三條

董事監察人ノ聯合會議ヲ名ゾケテ行務總會ト云フ

第三四條

行務總會會議ノ範圍ハ左ノ如シ

一 特別積立金株主特別配當金及ビ行員賞與金ノ分配

二 董事會ノ裁決シ能ハザル權限爭議

三 董事長常務董事常駐監察人ノ俸給及ビ交際費並ニ董事監察人ノ車馬費ノ議定

四 董事會監察人會ノ範圍内ニ屬サザル事項

第三五條

行務總會ハ議長之ヲ召集シ多數決トシ可否同數ノ時ハ議長之ヲ決ス但シ出席董事監察人各半數以上タル時始メテ決議ヲナスコトヲ得其ノ議事録ニハ出席各員署名又ハ捺印スベシ

第八章 株主總會

第三六條

株主總會ハ左記ノ兩種ニ分ツ

(一) 通常株主總會
(二) 臨時株主總會

第三七條 通常株主總會ハ毎年總行所在地ニ於テ一回開會シ董事會之ヲ召集ス

第三八條 臨時株主總會ハ修正中興銀行條例第十四條及第十五條ノ規定ニ依リ董事會之ヲ召集ス

第三九條 株主總會ノ召集場所及ビ期日ヲ株主ニ通知シタル後已ニ得ザル事故ニヨリ之ヲ變更スル必要アル場合ニハ最適ノ方法ニヨリ速カニ株主ニ通知スベシ

第四〇條 株主總會ノ會議未了ノ事項アル時ハ會議ヲ延長スルコトヲ得其ノ期間ハ株主總會之ヲ決定ス

第四一條 株主ノ開會期日ヨリ起算シ六十日前二十株以上ノ登記ヲ有スル者ニシテ始メテ會員ノ資格ヲ有シ會議ニ出席スルコトヲ得ルモノトス

31
96

第四二條 株主ノ株主總會ニ出席スル資格アル者ハ會期前ニ株券ヲ總行又ハ最寄ノ分支行ヘ提示シテ總會ノ出席證ヲ受取リ開會前十日ヨリ開會前日迄ノ間ニ總行ニ持參シテ入場券並ニ議案及報告書ヲ引換受取ルベシ

第四三條 株主總會ノ會員事故ニヨリテ出席シ能ハザル時ハ委託書ヲ認メ署名捺印シ他ノ會員ニ代理ヲ委託スベシ但シ一會員ノ代理投票權ハ十票ヲ超ユルヲ得ズ

會社商店公共機關等ニシテ本銀行ノ株主タル者ハ當該會社商店及公共機關ヨリ相當ノ證明書ヲ具ヘタル代表ヲ派遣シ總會ニ出席シテ株主ノ職權ヲ行使シムルヲ得ベシ但シ前項ニニヨリ他ノ會員ニ代理ヲ委託スルコトヲ得

第四四條 株主總會會員ノ投票權ハ十株ニツキ一權トス凡テ會員ノ投票ハ一人ニツキ一票ニ限リ其ノ享有スベキ權利數ハ悉ク一票ノ内ニ分別明記スルモホトス但シ代理ノ票數權

利數亦一票ノ内ニ分別明記スルコトヲ得

株主總會ノ會議事項ニ就キ凡テ自身ニ特別利害關係アル者ハ
表決ニ參加シ並ニ他人ヲ代理シ議決權ヲ行使スルコトヲ得ズ
株主總會ノ決議事項ノ表決方法ハ議長其ノ都度之ヲ定ムルコ
トヲ得

第四五條

株主總會ハ通常ト臨時トヲ問ハズ三十日前ニ新聞紙ニ公告
シ並ニ書信ヲ以テ召集場所期日及ビ議題ヲ各株主ニ通知スベ
シ緊急事件アルトキハ十五日前通知ノコトニ改ムルコトヲ得
開會通知發送後ハ株主名簿ヲ總行ニ備置キ株主ノ隨時閲覧ニ
便ナラシムベシ

第四六條

株主ハ株主總會ノ議決ニ議決ナル事項ニ對シ異議アル場合
ニモ或ハ總會ニ出席ナザリシ者モ均シク之ヲ否認スルコトヲ
得ズ

第四七條

株主總會ノ議事ハ通知書ニ記載ナル議題ニ限ルモノトス

會員中意見アルトキハ週々手開會ヲ日前ニ會員十名以上ノ連
署ヲ經タル意見書ヲ董事會ニ送付シテ議題ニ加ヘ株主總會ニ
提出シテ之ヲ議決スルベシ

董事會又ハ監察人會ノ重要事項ナリト認ムルモノハ均シク臨
時ニ株主總會ニ提出シテ議題ト爲スコトヲ得

第四八條

株主總會ハ會員二十分ノ一以上ニシテ資本金三分ノ一以上
ヲ占ムル者出席スルニ非ザレバ開會スルコトヲ得ズ

第四九條

株主總會ノ決議事項ハ出席株主議決權ノ過半數ヲ以テ有效
トス定款改正ノ時ハ出席株主投票權三分ノ二以上ノ同意ヲ以
テ之ヲ行ヒ且ツ財政部ニ申請シテ其ノ認可ヲ受クベシ

第五〇條

董事會ハ株主總會開會前五日內ニ監察人ノ審査ヲ經タル左
記ノ各種帳簿ヲ監察人ノ報告書ヲ總行ニ置キ各株主ノ閲覧ニ
備フベシ

（一）財産目錄

仁 貸借對照表

三 營業報告書

四 損益計算書

五 積立金及ビ利益金分配案

第五一條 株主總會開會ノ時 董事會ハ前條記載ノ各種帳簿ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第五二條 株主總會ハ各種帳簿ニ對シ疑義アル時 検査人ヲ選舉シテ之ヲ検査スルコトヲ得 其ノ選舉方法及ビ人數ハ株主總會其ノ都度之ヲ決定ス

第五三條 董事監察人行務ニ對シ不正行爲又ハ瀆職ノ事アリ官證アル時ハ株主總會ハ出席株主議決權ノ過半數ノ決議ヲ以テ別ニ選舉ヲ行フ外法律ニ關ラシ之ヲ訴追スルコトヲ得ルモノトス

第五四條 株主總會ノ會議場ニハ會議場所期日議長姓名決議事項ヲ列記シ出席株主名簿及ビ權利數ヲ添附シテ議長之ニ署名又ハ捺

印スベシ

第九章 決算及利益金處分

第五五條 毎年決算期間ヲ兩期ニ分チ一月ヨリ六月迄ヲ上期トシ七月ヨリ十二月迄ヲ下期トス全年ノ決算報告ハ之ヲ通常株主總會ニ提出スルト共ニ財政部ニ報告シ公布ス

第五六條 毎年ノ利益金ハ先ツ總額ノ十分ノ一以上ヲ積立金トシテ控除セル後始メテ株式配當金ヲ支拂フモノトス

第五七條 中國銀行ノ株式配當率ハ年七分ヲ超ユルコトヲ得ズ

第五八條 利益金中積立金及配當金ヲ支拂ヒタル後尙剩餘アラバ之ヲ株主特別配當金及ビ行員賞與金トシ或ハ事情ヲ考慮シ特別積立金ト爲スモノトシ其ノ分配方法ハ株主總會之ヲ決定ス但シ行員賞與金ハ多クモ本年剩餘金ノ百分ノ三十ヲ超ユルヲ得ズ

第十章 附則

第五九條 中國銀行ノ公告方法ハ總分支行或ハ代理店爲替契約等ノ所

在地ニ於テ一種又ハ二種ノ新聞紙ヲ指定シ之ニ公告スルコト
ヲ得亦各地方ノ習慣ニヨリ公告ヲ爲スコトモ得ベシ
第六〇條 本定款ハ株主總會ノ議決ヲ經テ財政部ノ認可ヲ受ケルモノト
ス改訂増削ノ場合亦同ジ
第六一條 本定款ハ株式總會ガ議決シ財政部ノ認可ヲ得タル日ヨリ施
行ス

以上

0247

◎中國、交通兩銀行開業ニ關スル現地當局談（昭一七、八、二八午后五時發表）
中國、交通兩銀行ノ改組復業ニ關シテハ數次ニ亘リ日華混合委員會ヲ
開キ日支双方協議ノ結果ニ決定セラレタル兩銀行處理要綱ニ基キ審
議ヲ重テ、茲ニ重慶色拂試等兩銀行改組復業ニ必要ナル手續ヲ完了シ
本日兩銀行董事長以下ノ役員ノ決定ヲ見、來ル九月二日中國銀行ハ漢
口路ニ、交通銀行ハ辭安寺路ニ於テ夫々復業スルコトナリタリ
從前兩銀行ハ中國金融界ニ重キヲ爲シ經濟、産業ノ發展ニ資スル處
勢カラザルモノアリタルガ、今回改組ノ上中央儲備銀行ノ傘下ニ更生
シ復業スルノ趣ビトナリ、今後中國ノ産業ノ復興、經濟ノ發展ニ寄與
スル所甚大ナルベキヲ期待セラレルト共ニ日本當局ニ於テモ將來兩銀
行業務ノ健全ナル發展ノ爲メ各般ノ協力ヲ惜マザルモノナリ

六中交兩行開業ニ關スル當局談發表
 斯クテ處理委員會ハ直チニ國民政府ニ對シ右兩行修正定款ノ認可ヲ
 並ニ兩行復業ノ趣旨ニ即應スル如ク兩行條例ノ改正公布方ヲ申請セ
 リ
 八月二十八日夕刻兩行ノ開業ニ關シ左記ノ如キ現地當局談ガ發表セ
 ラルルト同時ニ國民政府側ヨリモ左記周財政部長ノ聲明發表セラレタ
 リ

0248

周 財 政 部 長 聲 明

(三一、八、二八)

中國銀行及交通銀行ノ復業ニ關シテハ幾ニ中交兩行籌備改組整理復業
 委員會ヲ設立シテ各種方策ノ樹立ヲ兼カシノタルカ成案ヲ得、茲ニ其
 ノ準備事務完ク終了シタルヲ以テ愈々九月一日ヲ期シ中支金融界ニ再
 發足スルノ趣ビトナリケルハ洵ニ同慶ノ至リデアリ
 却々兩行ノ復業ハ金融ヲ安定シ民生ヲ保持スルノ目的ニ出デタルモノ
 デ兩行復業大綱ニ示スガ如ク將政權トノ關係ヲ斷絶清算スルト共ニ中
 央儲備銀行ノ兩具トシテ國民政府ノ金融政策ニ即應スル新機構ノ下ニ
 經營セラルルモノデアリカラ其ノ發展ハ期シテ待ツベク、尙兩行ハ何
 レモ紙幣發行權ヲ授クニ至ツタカ尙金融界ノ重鎮タルコトヲ失ハズ且
 ツ其ノ重役層ニハ民間ノ權威アル銀行家ヲ出シ中國ノ實業ノ發展、生
 産ノ助長貿易ノ振興ヲ遺慮ナキヲ期シテキル次第デ中央儲備銀行ハ兩
 行ノ復業ニ要スル資金ノ供給ハ勿論將來ノ經營資金ノ援助ヲ惜マザル
 コトニナツテキルカラ兩行ハ其ノ基礎ニ於テモ鞏固デアリ其ノ前途ヲ

0249

見ルモ必クヤ中國金融界ニ重キヲ成スニ至ルコトヲ確信スルノデア
故ニ各界ニ於テモ安ンジテ兩行トノ取引ヲ開始シ其ノ發展ニ協力セラ
レンコトヲ希フ次焉デア
尙銀行ハ差富リ上海ノミノ店舗ヲ開クコ
トトナリ居ルモ逐次準備ヲ進メ各地ニ於テモ分支行又ハ辦事處ヲ開設
シ以テ其ノ使命ヲ完成スル考デア
更ニ茲ニ一言スベキハ兩行ノ復
業ニ當リテ友邦官憲ヨリ絶大ナル援助ヲ與ヘラレタルコトヲ此機會ニ
深甚ナル謝意ヲ表スル次第デア

又同日左記修正中國銀行條例、修正交通銀行條例夫々公布セラレタリ、

修正中國銀行條例

民國十七年七月二十六日
民國二十四年六月四日修正公布
民國三十二年八月二十八日修正公布

第一條 中國銀行ハ生産ヲ援助シ貿易ヲ發展セシムルコトヲ目的トス

ル銀行ニシテ株式会社ノ組織ヲ以テ之ヲ設立ス

第二條 中國銀行ノ資本金總額ハ國幣二千萬圓トシ之ヲ四十萬株ニ分

チ、一株國幣五十圓トシ一回全額拂込トス

前項資本金總額ヲ增加スル必要アルトキハ株主總會ノ議決ニヨリ財

政部ノ認可ヲ經テ之ヲ增加スルコトヲ得

第三條 中國銀行ハ總行ヲ上海ニ置キ國內外ニ於ケル業務上必要ナル

地方ニ分支行ヲ設置シ又ハ其他ノ銀行錢莊ト代理契約又ハ爲替契約

ヲ締結スルコトヲ得

分支行ノ設置、閉鎖及ビ移轉ハ財政部ノ認可ヲ受ケルコトヲ要ス

第四條 中國銀行ノ株券ハ全テ記名式トシ株主ハ中華民國ノ國籍ヲ有
スル者ニ限ル

第五條 中國銀行ノ營業年限ハ民國十七年十月二十六日ヨリ滿三十年トシ期限滿了ノトキハ株主總會ノ議決ニヨリ財政部ノ認可ヲ經テ之ヲ延長スルコトヲ得

第六條 中國銀行ノ株式配當率ハ年七分ヲ超ユルコトヲ得ズ

第七條 中國銀行ハ毎年利益金總額ノ十分ノ一以上ヲ積立金トセル後始メテ配當金ヲ支拂フモノトス、若シ尙剩餘アラバ之ヲ株主特別配當金及ビ行員賞與金並ニ特別積立金ト爲スコトヲ得ルモノトス

前項ノ分配方法ハ株主總會ノ議決ヲ經タル後財政部ニ報告スベシ

第八條 中國銀行ノ營業種類左ノ如シ
一 政府委託代理事務

二 各種預金ノ受入
三 確實ナル商業手形ノ割引又ハ買入

四 確實ナル擔保品ヲ抵當トスル貸付
五 商工業者ニ對スル動産不動産ヲ擔保トスル貸付

六 商工業者ニ對スル富座貸越及ビ機業貸付

七 國內外爲替及ビ荷爲替

八 信託及ビ儲蓄業務

九 證券及ビ各國貨幣ノ買賣

十 取引先ノ爲ニスル金繰ノ代理收支並ニ會社商店債券株式ノ代理募集

十一 證券證書及ビ其他一切ノ貴重品ノ保護預リ

十二 倉庫及ビ保險代理業務

十三 營業上ノ必要ニ基ク確信ナル投資

十四 其他ノ附隨業務

第九條 中國銀行ハ第八條ニ列舉セル各號ノ營業ヲ除クノ外左記ノ各號及ビ其他ノ事業ヲ經營スルコトヲ得ズ

一 擔保品無キ各種ノ貸付及ビ保證

二 本銀行ノ株式ノ買入ハ並ニ本銀行ノ株式ヲ擔保トスル貸付

三、營業上ノ必要ニ基カザル不動産ノ買入又ハ引受

四、各種商工業ノ直接經營

第十條 中國銀行ニ董事十一人監察人五人ヲ置キ株主總會ニ於テ百株以上ノ株主中ヨリ之ヲ選出シ財政部ノ認可ヲ受クルモノトス
中國銀行董事ノ任期ハ四年監察人ノ任期ハ三年トシ滿期後重任スルヲ妨ゲズ

第十一條 中國銀行ニ常務董事三人ヲ置キ董事之ヲ互選シ且ツ常務董事中ヨリ一人ヲ選出シテ董事長トシ財政部ノ認可ヲ受クルモノトス

第十二條 中國銀行ノ株主總會ハ左記ノ兩種ニ分ツノ
一、通常株主總會
二、臨時株主總會

第十三條 通常株主總會ハ毎年總行所在地ニ於テ一回開會シ董事會之ヲ召集ス
第十四條 董事會ハ重要事項アリテ會議ヲ必要トスト認メタルトキハ

臨時株主總會ヲ召集スルコトヲ得

第十五條 董事會ハ董事ノ過半数又ハ監察人全体若クハ株主總會會員五十人以上ニシテ且ツ株式全額ノ百分ノ十以上ヲ占ムル者ガ重要事項ニヨリ會議ヲ請求スルトキハ臨時株主總會ヲ召集スルコトヲ要ス

第十六條 株主總會開會ノ時八十株以上ヲ所有シ又八十株以上ノ株主ヲ代表シ開會ノ六十日以前ニ登記セル者ニシテ初メテ會員ノ資格ヲ有シ會議ニ出席スルコトヲ得

第十七條 株主總會會員ノ投票權ハ十株ニツキ一權トス

第十八條 株主總會ノ會員身故ニヨリテ會議ニ出席シ得ザルトキハ其ノ委託代理人ハ會員ニ限ル

第十九條 中國銀行ハ本條例ノ主旨ニ基キ定款ヲ詳細ニ規定シテ株主總會ノ議決ニ付シ財政部ノ認可ヲ受クベシ、改訂増削ノ場合亦同ジ
第二十條 本條例ハ株主總會ノ議決ニヨリ財政部ニ申請シ法規ニ照シ之ヲ修正スルコトヲ得

0252

39
164

第二十一條 本條例ハ公布ノ日ヨリ施行ス

修正 交通銀行條例

中華民國十七年十一月十六日公布
中華民國二十四年六月四日修正
中華民國三十一年八月廿八日修正

第一條 交通銀行ハ全國實業ノ發展ヲ目的トスル銀行ニシテ株式會社ノ組織ヲ以テ之ヲ設立ス

第二條 交通銀行資本金ハ總額ヲ國幣壹千萬元ト定メ之ヲ二十萬株ニ分チ每株ノ金額ヲ國幣五十元トシ一回ニ全額ヲ拂込ムモノトス

前項ノ資本金ヲ增加スル必要アルトキハ株主總會ノ決議ニ依リ財政部ノ認可ヲ得テ之ヲ增加スルコトヲ得

第三條 交通銀行ハ總行ヲ上海ニ置キ實業發展上必要ナル場所ニ分支行ヲ設置シ又ハ其他ノ銀行跟蹤ト代理契約ヲ締結スルコトヲ得
分支行ノ設置閉鎖及移轉ハ財政部ノ認可ヲ經ルコトヲ要ス

第四條 交通銀行株券ハ凡テ記名式トシ株主ハ中華民國ノ國籍ヲ有スルモノニ限ルモノトス

第五條 交通銀行ノ營業期限ハ民國十七年十一月十六日ヨリ起算シ滿三十年下シ期限滿了シタル時ハ株主總會ノ決議ヲ經財政部ノ認可ヲ得テ之ヲ延長スルコトヲ得

第六條 交通銀行ノ株式配當率ハ年七分ヲ超ユルコトヲ得ズ

第七條 交通銀行ハ毎年ノ所得純益總額内ヨリ十分ノ一以上ヲ積立金トシテ控除シタル後株式配當金ヲ支拂ヒ若シ尙剩餘アル時ハ株主特別配當金及ビ行員慰勞金並ニ特別積立金トナス

前項ノ分配方法ハ株主總會ノ議決ヲ經タル後財政部ニ報告スルモノトス

第八條 交通銀行營業ノ種類左ノ如シ

- 一 政府委託代理事務
- 二 各種預金ノ受入レ

105



- 三 實業會社ノ發行ナル社債ノ代理募集或ハ引受
 - 四 確實ナル抵當物件附ノ抵當貸付及實業工廠商號ニ對スル當座貸越
並ニ農業貸付
 - 五 實業用動産不動産ヲ擔保トスル貸付
 - 六 確實ナル商業手形ノ割引又ハ買入レ
 - 七 證券證書類及其他一切ノ貴重品ノ保護預リ
 - 八 信託儲蓄業務
 - 九 金銀ノ代理取立
 - 十 國內外爲替及荷爲替
 - 十一 證券及各國貨幣ノ買賣
 - 十二 倉庫運翰及保險業務
 - 十三 實業發展ノ爲メノ投資
 - 十四 其他ノ附隨業務
- 第九條 交通銀行ハ第八條ニ列舉セル各項營業ノ外左ニ列舉スル各項

- 及 其他 事業ヲ經營スルコトヲ得ズ
 - 一 無擔保ノ各種ノ貸付及保證
 - 二 本銀行株券ノ買入レ並ニ本銀行株券ヲ擔保トスル貸付
 - 三 營業上ノ必要ニ基カザル不動産ノ買買又ハ引受
 - 四 各種工商事業ノ直接經營
- 第十條 交通銀行ニ董事十一名監察人五名ヲ置キ株主總會ニ於テ一百
株以上ノ株主中ヨリ之ヲ選出シ財政部ノ認可ヲ受クベキモノトス
董事ノ任期ハ四年監察人ノ任期ハ三年トシ任期滿了後重任スルヲ妨
グズ
- 第十一條 交通銀行ニ常務董事三名ヲ置キ董事之ヲ互選シ並ニ常務董
事 中ヨリ一名ヲ選出シ董事長トシ財政部ノ認可ヲ受クベキモノト
ス
- 第十二條 交通銀行株主總會ハ分チテ左ノ二種トス
一 通常株主總會

三臨時株主總會

第十三條 通常株主總會ハ毎年總行所在地ニ於テ一回開催シ董事會之ヲ召集スルモノトス

第十四條 董事會ニ於テ重要事件ニシテ會議開催ノ必要ナルヲ認メタル時ハ臨時株主總會ヲ召集スルコトヲ得

第十五條 董事會若シ董事ノ過半数或ハ監察人全體或ハ株主總會會員五十人以上ニシテ且ツ株金全額ノ百分ノ十以上ノ者ヨリ重要事件ニ

因リ會議ノ請求ヲ受ケタル時ハ臨時株主總會ヲ召集スルコトヲ要ス

第十六條 株主總會開會ノ時十株以上ヲ有シ或ハ十株以上ヲ代表スル株主ハ開會六十日前ニ於テ登録シタル場合始メテ會員ノ資格ヲ有シ會議ニ列席スルヲ得

第十七條 株主總會會員ノ投票權ハ每十株ニ付キ一權ヲ有ス

第十八條 株主總會會員事故ニ依リ出席シ能ハザル時其ノ委託代理人ハ會員ニ限ルモノトス

第十九條 交通銀行ハ本條例ノ主旨ニ依リ定款ヲ詳細ニ定メ株主總會ノ議決ヲ經タル後財政部ノ認可ヲ受クベキモノトス若シ改訂増削ノ必要アル時亦同ジ

第二十條 本條例ハ株主總會ノ決議ニヨリ財政部ニ申請シ法規ニ照シ之ヲ修正スルコトヲ得

第二十一條 本條例ハ公布ノ日ヨリ施行ス

八月二十八日兩銀行條令夫々公布セララルト共ニ兩行役員モ兩銀行處理要綱ニ基キ日支双方協議ノ上儲備銀行、兩銀行關係者、其他財界有力者中ヨリ選任決定同日財政部長ヨリ左ノ如ク任命セラレタリ

0255

42
107

中國銀行
中國交通兩銀行役員

董專 憑 耿光 (董專 長)

周 作 民

吳 震 修 (常務董專)

戴 霽 嵐

朱 樸

張 素 民

邵 鴻 鑄

43
100

0256

監察人

沈 詒 昭 (常務董專)

趙 愈 嶺

王 仰 先

金 雄 白

盧 學 溥

張 文 煥

顧 鼎 貞

蔡 曜 東

邵 樹 業

元立法院編譯處處長

上海特別市政府秘書長

中國棉業公司總經理

南京興業銀行董事長

浙江實業銀行常務董專

現中國銀行監察人

現中國證券交易所監察人

現中國銀行監察人

上海特別市復興銀行總經理

中央儲備銀行上海分行副經理

交通銀行
董事 唐壽民(董事長)

交通銀行總經理
交通銀行董事長

葉 薰

大陸銀行協理兼上海分行經理

王 承 祖

交通銀行上海分行經理

李 思 浩

元財政總長

裴 復 恆

元國立上海商學院長

柳 汝 祥

中央儲備銀行理事兼業務局局長

朱 博 泉

中銀工業聯合準備委員會經理

陶 俊 人(常務董事)

前財政部公債司司長

吳 繼 雲

中央儲備銀行運籌兼顧處處長

盧 穎 之(常務董事)

上海網業銀行副總經理

周 起 廉

交通銀行上海分行副經理

葉 崇 勳

現交通銀行監察人

汪 仲 陶

中央儲備銀行上海分行副經理

段 宏 綱

元監察院監察委員

尤 菊 藻

前安和洋行總經理
大正銀行董事長

陳 維 政

前湖北參政廳長

0257

109

七、第四回中交兩行處理日華混合委員會
 八月三十一日午前十一時十五分ヨリ第四回委員會並ニ第六回幹事會
 左記ノ如ク開催セラレタリ。
 日本側堀内委員長司會ノ下ニ委員會ヲ開催セリ。
 堀内委員長委員會ニ先立チ直チニ幹事會ノ審議ニ移リ席キ旨ヲ述べ
 委員會ヲ一應閉會シ幹事會ニ移レリ。
 小原幹事長司會ノ下ニ幹事會ヲ開催シ左記六項ヲ審議、上可決セリ。
 ◎決議事項
 一、香港南洋等ニ在往スル株主ノ所有株式處理ノ件
 前記各地在往株主ハ交通通信等ノ不圓滑ヲ察メニ六ヶ月ノ交換申込
 期間ニ後レル事豫期セラル、仍テ株主ノ失禮確定ハ交換期間後ト雖
 モ日本側ト連絡、上善慮スル事トス。
 二、敵性株主ノ所有株式處理ノ件
 敵性株主ノ株式ハ國民政府ニ歸屬スルコト、ナリ居ル處ニハ軍當局

ノ敵性判定措置ヲ待ツテ處理スル事トス
 三、同業貸借關係處理ノ件
 第三回幹事會ニ於テ留保トナリタル同業貸借ノ處理ニ付キ過般兩銀
 行復業事務所ハ相手方同業者ヨリ大體左記ノ諒解ヲ得タルヲ以テ之
 ヲ承認スルコトトス
 (1) 銀行業準備委員會トノ貸借ハ相殺ノ上其ノ預リ超(中國約五二、
 二〇〇千元、交通約一七、五〇〇千元)ハ管分總債タコト
 (2) 同業準備委員會ヨリ預リ超(中國約八、一〇〇千元、交通約三、二
 〇〇千元)ハ無條件支拂ヲナスモ總業準備庫ハ必要已ムヲ得サル
 場合、外引出サマルコト
 (3) 一般同業者ヨリ預リ金ハ無條件ニ支拂フコト
 (4) 敵性預金者ニ對スル預金拂戻及保護預リ品ノ處理ニ關スル件軍當局
 ノ指示ヲ俟ツテ處理スルコトトス
 三、兩銀行關係不動産處理ニ關スル件

兩銀行關係、不動産ハ敎産籌理中、モノニ付テハ別途置貸局、指示
 ヲ受ケ處理スルコト、ス
 六開業時、資産負債表決定、件別行別紙九月一日現在、資産負債表ヲ
 以テ營業ヲ開始、コト、ス

0259

中國銀行資産負債表

昭和十七年九月一日

(單位千元)

資 産		負 債	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	六一四〇	資 本 金	二〇〇〇〇
銀	三七二〇	同 業 預 り 金	八三二八四
同業預ケ金	三九六五七	一 般 預 金	八三二四九
同業貸付金	六二六	假 受 金	一五三二
一般貸付金	三三九六六		
外國爲替勘定	一一		
假 拂 金	二五四		
有價證券	九〇七一		
不 動 産	一〇八九六七		
營業用器具	八一		

0260

合計	相對勘定	未收貸付金利息	支拂保證金	其他	合計	相對勘定	滯貸利息補填準備金	滯貸補填準備金	未拂預金利息	未拂金	受入保證金	合計	相對勘定
二一六四四	二七三二	七三六六	五二		二一六四四	二七三二	八一九七	二六八四	四七二九	四六六四	一五七七	二一六四四	二七三二

交通銀行資産負債表

(單位千元)

資産		負債	
科目	金額	科目	金額
一般放款 (一般貸金)	五六〇八	資本金	一〇〇〇〇
動産不動産	八八七二	一般存款 (一般預金)	二八七四
存放各同業 (同業預金)	三〇九七〇	同業存款 (同業預金)	三六六七〇
同業缺款 (同業貸金)	六五〇七	雜項存款 (假受金)	一三〇九
雜項缺款 (假拂金)	一六五八	保證金	五
有價證券	五九五二		
承受押件 (抵當流)	三四〇		
現金	九七一七		
銀	四〇六二		
合計	七六七三一	合計	七六七三一

(單位千元)
48
113

020

以上ヲ以テ幹事會ヲ終了シ小原幹事長幹事會ノ審議經過並ニ決議事項
ヲ委員會ニ報告セリ。

委員會ヲ再開シ堀内委員長幹事會ノ決議ヲ其體委員會ノ決議ト致シ庶
キ旨一同ニ諮リ異議ナク可決セリ。

次ニ堀内委員長兩銀行條例公布ノ件、重役選任ノ件、開業期日ノ件等
ヲ報告セリ。

斯クテ本委員會ハ七月八日成立以來二ヶ月間ニ委員會ヲ開ク事四回、
幹事會ヲ開ク事六回兩行開業ニ必要ナル事項ヲ一切處理決定シ其使命
ヲ完遂シタルヲ以テ委員會章程第七條ニ依リ九月一日復業障ヲ以テ解
散スルコト、ナレリ。

委員會閉會ニ當リ各委員ノ述べタル挨拶左ノ如シ。

周委員挨拶

「本日最後ノ會議ニ當リ日五各委員並ニ幹事諸公ノ御出席ヲ戴キマ
シテ誠ニ難有厚ク御禮申シマス。願ルニ中交兩行處理委員會ハ多難
ナル歩ミニモ不拘友邦日本ノ御援助ヲ得テ今回會議ガ滞リナク完了
致シマシタ事ハ友邦日本ニ對シマシテ厚ク御禮申シ上ケル次第デア
リマス。

本處理委員會ハ二ヶ月間ニ於テ幹事會ヲ開ク事六回、委員會ヲ開ク
事四回ニ亘リ兩行ニ對スル議題及決議ハ滞リナク一致ヲ見テ日支合
作ノ基礎ヲ築キマシタ。今回兩行ノ復業ヲ見ルニ至リ中央儲備銀行
ノ責任ノ益々重大ナルヲ痛感シ今後更ニ友邦日本ノ御援助ヲ仰ギ日
支提携ノ實ヲ擧ゲシ事ヲ希望シテ已マザル次第デアリマス。

今日私ハ熱引龍中デアリマシタノヲ押シテ出席シマシタ様ナ次第
爲メ午餐ヲ御一諸ニスル事ハ出來兼ねルノヲ残念ニ思ヒマス。
唐委員挨拶

「今日ハ最後ノ會議デアリマス、私ハ中交兩行ヲ代表致シマシニ感
謝ノ意ヲ述ベタイト思ヒマス。願ヒマスニ中交兩行ハ大東亞戰爭勃
發以來中央、農民兩行ト共ニ軍管理トナツテ居リマシタガ、中央、
農民ハ清算スル事トナリ中國、交通ハ其ノ三十餘年ノ歴史ニ鑑ミ復
業ヲ許サレル事トナリマシタガ、其處デ中交兩行處理委員會成立ヲ
見テ兩行ノ軍管理ノ資産ハ悉ク返還シレ復業後ニ於テハ預金ノ引出
シ、無制限ニ支拂フ事ニナリマシタガ、又兩行復業ニ關スル定款並ニ
條例ハ悉ク完成シ明日ハ愈々復業スル事トナリマシタガ、
中交兩行ハ御承知ノ通り民間ノ金融ノ中樞ヲ爲スモノデ信用モアリ
從來民衆ハ厚ク兩行ヲ信賴シテキルンデアリマス、今後復業シテモ
此ノ信用ヲ恢復スルノガ急務デアルト信ジマス、コレハ唯兩行ニ於
ケル職責ノ責任デアアルノミナラス財政部官局中央儲備銀行ノ御指導
更ニ友邦日本ノ御援助ニモ係ルンデアリマス。勿論中交兩行自休ハ
一層努力ヲシテ信用ヲ速クニ恢復シ且事業前同様ニ中國ノ金融ノ安

0264A

定ニ資ヤシトスヘルンデアリマス、コレハ私ト中國銀行ノ吳氏ノ齊
シク希望スル處デアリマス。又大東亞戰爭勃發シテ以來友邦ヨリ派
遣セラレマシタ檢査員諸氏ノ御助力ニ對シ厚ク御禮ヲ申シ上ゲマス
、本日閉會ニ當リ一言御挨拶ヲ申上ケ且諸公ノ御健康ヲ祝シマス。
原委員挨拶
「中交兩行ガ愈々復業スル事トナリ九月一日ヨリ再生ノ第一歩ヲ踏
出スコトトナツタ事ハ唯ニ兩行ニ對シ慶賀スベキノミナラス日支兩
國ノ前途ニ對シテモ欣快ニ堪ヘヌ次第デアリマス。中交兩行ノ營事
者ハ一致協力シテ復業ヲ意義アラシメラレタイノデアリマスガ、國
民政府及中央儲備銀行ニ於テモ兩行ニ對シ充分ナル援助ヲ與ヘルト
共ニ適度ノ掣肘ヲ加ヘル事ナク一方兩行モ進シテ協働シ兩者緊密ニ
一致シテ日支經濟合作ノ實ヲ擧ゲサレシ事ヲ希望シテ已マヌ次第デ
アリマス。」
滿内委員長挨拶

53
116

「中交兩行處理委員會ハ使命ヲ終ヘ解散スル事トナリ明日ヲ以テ愈々復業スル事トナリマシタ。短期間ニモ不拘屢々會議ハ重ネラレ充分ニ審議ヲ盡サレタ事ハ日支經濟合作ノ上カラ慶賀ニ堪ヘヌ次第デアリマス。父周部長ノ本日病ヲ押シテ出席サレタ事ハ感激ニ堪ヘヌ處デアリマス。

兩行ノ敵性ガ解除サレタノハ兩行カ三十餘年ニ亘ツテ中國經濟界並金融界ニ重要ナル地位ヲ占メ中國ノ金融ニ貢獻スル處大デアツタバカリデナク又政府銀行トシテモ日支經濟ニツクシタ事大ナル爲メデアリマス。

私個人トシマシテハ滿洲事變前上層ニ居ツテ日支關係ノ改善ニ努力シテ居リマシタ關係上兩行ガ當時ノ政府ノ排日方針ニ反對シテ日支兩國ノ爲メニ盡シタ事ヲ親シク體驗シテ居リマス。復業後ノ兩行ハ單ニ金融ノミナラス日支一般關係ノ改善ニモ充分ニ盡力アラン事ヲ希望致シマス。